

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり				
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進				
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。					
平成26年度実績					
校区別人権・同和教育懇談会を、人権・同和教育参観日に行った。 PTA懇談会の内容を検討し、充実を図った。また、公民館との連携により、地区内懇談会の充実も行った。 学校により、学年・学級通信、保健だより、生徒指導通信など、各種通信を定期的に発行した。また、ホームページの更新にも努めた。 家庭科や総合的な学習の時間、そして道徳の時間等に、相手の人格と立場を理解尊重し、助け合うことの大切さを学んだ。 男女の特性を理解したうえで家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤について学習している。 地区別教育懇談会を実施し、少人数グループで家庭学習や学校での学習の様子などを話し合い、学校と家庭との協力関係を構築できた。 家庭学習の習慣化を図るため、強調週間や月間を設け、家庭との連携を図るとともに、学級PTA等で家庭学習の在り方について話し合った。					決算額
					実績値
					93%
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
講演会等の行事への保護者の出席率が高まった。 学校だよりを校区の住民に回覧し、閲覧していただいた。 講演会など各種行事への参加人数の確保が難しい。 児童の学力向上を目指し、家庭での学習について啓発を続けた結果、理解は深まっている。 学級の参観授業では、保護者の参加人数はある程度確保されているが、学級懇談会やPTA総会における参加人数は少ない。そのため、家庭との連携強化を図るためには、PTA懇親会、学級レクバレー大会、学級レクリエーション及び各部活動での遠征等、保護者に協力いただくあらゆる機会を捉えて、家庭教育のあり方及び学校との連携について、触れていく必要がある。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
家庭科、社会科の授業において、家庭教育に関する学習を推進する。 各種通信やホームページ等を利用し、情報発信に尽力する。 みんなが興味を示し、積極的に参加できる事業を行う(参加率を上げる)。 学級レク活動が楽しい交流の場となり、保護者とおしの意味疎通が図れるようにする。 PTA専門部会を中心に、みんなが会の企画・運営に参加できる事業を実施する。 男女の協力等についての授業を公開する。 学校だよりや各種通信をとおして家庭との連携を図り、家庭の役割などについても啓発を図る。 昨年度内容を充実することができたホームページや学校通信などを、家庭との双方向ツールとして活用する。 PTA行事に来ていただいた保護者に、「また参加してみたい。」という気持ちになってもらう内容の工夫をする。 PTA運営委員会、学級PTAを中心に、家庭教育のあり方について考えるとともに誰もが参加できる行事の運営を工夫する。					予算額
					目標値
					100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり					
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進					
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進		(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向		
		現状値(H25)	目標値(H29)			
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館 (延べ60回)	①充実 ●	②継続	③新規
事業の概要						
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。						
平成26年度実績						
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 29館 講座実施回数 : 72講座 延べ時間数 : 129時間 参加者数 : 2,864人(うち、男性880人、女性1,984人)						決算額
						420千円
						実績値
						29館
						進捗状況
						4
事業に対する評価・課題等						
実施公民館数が、平成25年度から1館減少した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。 職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4
平成27年度予定						
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 30館 講座実施回数 : 87講座 延べ時間数 : 130時間						予算額
						484千円
						目標値
						30館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり						
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進						
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	4回	4回				
事業の概要							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。							
平成26年度実績							
会場 講師	宇和島市立玉津小学校 平成26年6月15日(日) 参加者:35名 eネットキャラバン・親子で作る人権標語 eネットキャラバン 宇都宮康弘さん						決算額
							40千円
会場 講師	宇和島市立清満小学校 平成26年10月26日(日) 参加者:125名 「愛顔の人権ストーリー」 宇和島市人権教育協議会副会長 酒井忠彦さん						実績値
							100%(4回)
会場 講師	宇和島市立吉田中学校 平成26年12月6日(土) 参加者:419人 「みんなちがってみんないい」 のらねこ学かん館長 塩見志満子さん						進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
講演を聞いて、比べるのは他の人ではなく、今までの自分で、輝く個性を幸せに生きる権利を大切にしようと感じた。今後、自分を愛して、信じて、大切な子育てをしていきたい。 保護者・一般参加が少なく残念であった。今後、時期や運営方法を見直し、多くの方が参加できるよう改善していきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、人権問題講演会等を4回程度開催する。						予算額	
						40千円	
						目標値	
						100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課			●			
事業の概要							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
平成26年度実績							
保育所において、人権の尊重や男女の相互理解と協力の重要性、勝ち得生活の大切さなどの教育を実施している							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同じ							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課【教育総務課】			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解とその特性を生かしながら、心身ともに調和的な発達を図るとともに、自分の思いや考えなどを表現することができ、友達の思いにも気づき、優しさや思いやりの気持ちを持つことができるように援助した。 幼児一人一人の発達や特性を理解し、職員が連携し合い、また家庭とも連携を図りながら、より良い成長が促されていくよう、見守ったり、援助した。 幼児同士が関わる中で、互いの良さに気付くように努めた。 遊びや生活の中で、縦割り集団による活動を積極的に取り入れ、優しさや思いやりの気持ちが育まれるよう取り組んできた。 互いの思いを伝え合い、相手を思いやる幼児の育成・指導に努めた。 家庭教育支援事業等を通して、子育ての楽しさや家庭教育の大切さを知らせるなど、保護者への啓発を図ってきた。 家庭生活の大切さを啓発した。 家族参観日など、子育てに関心を示してもらい機会を設けるとともに、人権・同和教育の研修会や保育実践を行う。 							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに命の大切さについても知らせていく。 教職員が共通理解のもと幼児とかかわっていったので、幼児一人一人の成長や発達が見られた。 幼児一人一人の思いや願いを受け止めながら発達に即した教育を行うことができたが、生活リズムの乱れから遅刻や欠席等が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。 保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。 互いの思いを伝えたり、受け止めたりしながら活動するようになった。 人権・同和教育研修会を通して、人権尊重への意識や、家庭生活の大切さを理解してもらうことができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解に努め、発達段階を見極めながら、個々に合った指導の在り方について研修を深めていく。 引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。 家族参観日・人権・同和教育学習会 「自尊心」を視点に、人権教育を推進する。 							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>							
平成26年度実績							
<p>「学校生活に関するアンケート」を定期的実施することにより、生徒のトラブルの早期発見、早期対応につなげることができた。教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所の校務分掌を作成した。全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を学期1回行った。教育相談活動を全教職員で担当し、児童の悩みや不安の把握に努めた。児童の活動については、全校を縦割り班で行い、一人一人の個性に応じた役割を發揮できるようにした。すべての児童が自尊感情をもって学校生活を送れるよう児童理解と学習指導の充実に努めた。定期的に「児童を見つめる会(生徒指導研修)」を実施し、全教職員体制で、児童一人一人の特性に応じた指導に努めた。生徒指導情報を全教職員が共有し、生徒指導に対応することができた。学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭教育の大切さ等に関する教育を充実させた。児童生徒一人一人の特性、教育的ニーズに応じた指導を行うことで、いじめや不登校の未然防止を図った。</p>							決算額
							実績値
							95%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>男女が協力する場面を多く見かけることができた。学級担任だけでなく、生徒が希望する教師による教育相談も実施し、全教職員で全校生徒を見守る体制を整えることができた。生徒については、生徒会活動を中心に朝ボランティア活動及び「小さな花の会」活動など、独自の取組を実践することができた。教職員については、組織力を生かした指導が充実した。性教育等、男女の違いや男女の協力の在り方について学習する機会を更に充実させる必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<p>いじめ・不登校対応については、こども支援教室、主任児童委員、SSW等とも連携を図り、いろいろな角度から子どもを支える体制を築く。互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りに努める。地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組む。全校縦割り班活動の実施。児童一人一人の人権を尊重し、個性を伸ばす指導に努める。学級活動や道徳の時間において、相手を思いやる心を育み、いじめや不登校の未然防止に努める。校区別人権・同和教育懇談会を実施し、人権尊重の意識を高める。全校児童と向き合う時間の確保に努め、教師に悩みや願いを相談できる信頼関係を確立する。</p>							予算額
							目標値
100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課					●	

事業の概要

様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。

平成26年度実績

日 時 平成26年8月8日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テ ー マ 「今、携帯を持つ子どもたちに起きている事実」～ネットいじめをはじめとするトラブルの現状と対応～ 講 師 WEB110(ウェブワテン)主宰 吉川誠司さん 参加人数 523名	決算額	232千円
	実績値	100%
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

現在は警察庁の委託事業のインターネットホットラインセンターのセンター長である講師による、パワーポイントを使用した非常に分かりやすい講演であった。ネットいじめ・自撮り・炎上・出会いをキーワードに子どもたちのすぐ側に潜むケータイ・スマホに起因するトラブルや事件について実話を交えて説明され、決して他人事ではないと自分のこととして捉えることができた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

日 時 平成27年8月7日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テ ー マ 「母娘で問うた部落差別」 講 師 坂田かおりさん 参加人数 530名	予算額	250千円
	目標値	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特別支援教育推進事業	福祉課 【教育総務課】			①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。

平成26年度実績

<ul style="list-style-type: none"> ・園だより・クラスだより・アンケートや行事の感想等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思い等発信した。 ・保護者学習会や懇親会、園便り、クラス便りなどを通じて、園の教育方針や指導への理解を図るとともに、幼児の育ちや保護者の思いを伝え合い、子育ての大切さや楽しさを共有したり発信した。 ・多様なニーズに対応できる環境構成や、幅広い考えを受け入れる素地作りの指導に取り組んだ。 ・一人一人の個性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。 ・家庭の協力を得ながら、幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、配慮を要する幼児を中心に主体的に取り組む幼児集団の育成を目指してきた。 	決算額	—
	実績値	100%
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

- ・保護者との連携を深め、協力しながら、幼児自身が自分で考え、自分で行動することができるよう生きる力の基礎を培っていく。
- ・幼児の実態を見極めながら、ニーズに合った指導の充実を図る。
- ・自分で考え判断し、行動することができる、生きる力の基礎を身につけるための指導の充実を図る。
- ・自己肯定感や自覚を促すことができる環境や指導方法を工夫し、幼児自らの学ぶ力を引き出していく必要がある。
- ・園生活の中で、様々な経験を通して人と関わる力や表現する力がついてきた。
- ・幼児にとって、実体験の大切さと必要性、それによる発達の違いなどを実感した。今後も保護者の協力を得ながら、幼児に様々な体験をさせたい。
- ・幼児の個性や発達に応じた指導法について、教師自身がさらに課題意識をもって取り組む。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学習会の充実した内容の選択と取組 ・家庭教育の啓発や、保護者への子育てに関する支援を考える。 ・保護者の実情や要望等に適した学習会の内容を取り入れ、園と保護者との一層の連携を図る。 ・幼児と特性や家庭環境等に応じた指導を工夫し、幼児自らの学ぶ力を引き出していく。 ・園内研修の充実・各研修会への参加 ・保護者との連携を通じて、一人一人の課題や問題点を探り、解決に努める。 ・多様な経験の場を保障し、生活力を育む。 	予算額	—
	目標値	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課					●	

事業の概要

一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。
校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。
一人一人の良さを生かす教育を推進する。

平成26年度実績

特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教育の校内研修の充実を図った。 一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図った。 校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにした。 授業のユニバーサルデザイン化を推進し、どの子にも分かりやすい授業が展開できるよう努めた。	決算額
	実績値
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。
一人ひとりの障害に対する正しい理解と認識を深め、適正な就学の推進に努め、関係機関と連携し指導内容や方法の充実を図った。
個人の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。
一対一の落ち着いた学習活動ができた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に努める。 特別支援教育に関する研修の機会を増やし、ユニバーサルデザインの授業が行えるよう、教師の実力を高める。 個に応じた支援活動の充実。 特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に努める。 一人一人の良さを生かす教育を推進する。	予算額
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		●	③新規

事業の概要

将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。
キャリア教育の推進。発達段階に応じた職業意識を育てる。自己有用感を育てる。

平成26年度実績

生徒の自己有用感の育成を図るため、生徒の良さを伸ばす声掛けや指導に努めた。 高校説明会や先輩からの講話を行い、職業選択の自由や将来について夢をもち生活できる態度の育成に努めた。 職業講話、進路説明会及び進路懇談会を開催することで、学校と家庭が将来の生徒の進路について話し合う機会を提供することができた。 職場体験学習及び高校一日体験入学に、生徒を積極的に参加させた。	決算額
	実績値
	89%
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

現在の学習や生活が、将来の自分につながっていることを理解させるためにも、キャリア教育の更なる充実が必要である。
いくつかの職種の講師を依頼し、各グループごとに職業講話を行った。
生徒は自分の興味・関心に応じ、講座を選択したが、このことにより、将来の進路について具体的に考えていこうとする生徒の意識の変容が見られた。
将来の夢や目標について考えさせることも大切である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

ジョブカフェによる研修会を実施し、キャリア教育に関する教員の指導力向上を図る。 生徒一人一人に適した進路決定させるため、学級指導及び進路指導委員会での協議を充実させる。 家庭における自分の仕事を体験させ、働くことの尊さを実感させる。 様々な職業に関する学習や体験を充実させる。	予算額
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	福祉課 【教育総務課】	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> 保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。またPTA活動においては、互いに協力し合い取り組めた。 園行事やPTA活動においても積極的に取り組み、協力し合い、浸透していくよう努めた。 職員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。 家庭教育学習会や子育てサポート内容の充実を図った。 男の会長を中心に、役員は勿論、保護者の協力を得ながら、園の様々な活動に取り組んできた。 園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらった。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。 PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を持つことができた。 PTA活動の中で、男女共同参画にかかる家庭教育に関する学習の機会を提供する必要がある。 父親参加が多く見られる。引き続き、PTA活動の中に、男女共同参画の意識を高める内容を組み込んでいく。 保護者のニーズに合った行事日程を組むことで、参加者も多く、男の会長を中心に保護者の協力を得ることができた。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> 幼児への適切な指導の為の研修会への参加と充実。 人権・同和教育保護者学習会、子育て学習会、PTA活動の充実を図る。 PTA活動の精選、父母だけでなく、祖父母も参加しやすい行事の持ち方を工夫する。 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。

平成26年度実績

<p>男女の特性を活かしたPTA活動を行うことができた。 PTA役員への女性の登用。 互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。 重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。 学校評価アンケート、学校関係者評価委員会の方のご意見を取り入れ、開かれた学校づくりのために改善を図った。 学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、それがPTA活動に浸透するように努めてきた。 PTA理事の女性の視点を生かしたPTA活動を行うことができた。 男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。 保護者や地域の声に耳を傾け、要望等に対しては即日対応を心掛けた。</p>	決算額
	実績値
	93%
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

PTA活動への父親の参加が増え、男女が協力して活動することができた。
主任児童委員と情報交換会をもつなど、地域との連携が一步前に進んだ。
教職員集団が団結し、共通理解のもと、協力した実践ができた。
学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な改善や問題解決に取り組んだ。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

<p>専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり。 男女の特性を生かしたPTA活動への参画。 学校評価アンケート、学校関係者評価委員会、ほか、地域のボランティアの方々、公民館関係の方々などとの交流の中で、様々な意見を参考にしていきたい。 学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進する。 PTA役員(運営委員会)について、本年度も男9名、女10名となり、男女のバランスのとれた構成となっている。</p>	予算額
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(4) 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。							
平成26年度実績							
学校運営における男女の役割を見直し、教職員一人一人の資質・能力の向上に努めた。 校外での研修成果を報告し、教職員全員がそれを共有することで資質・能力の向上を図った。 少人数グループでの校内研修を実施するなど、教員の研修参加への意欲を高めることができた。 男女性差なく研修の機会が与えられており、指導力、人間的魅力を高めている。							決算額
							実績値
							87%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
セクハラにかかわる意識の高まりが見られた。 共通理解を行ったため、職員全員が個に応じた指導を行うことができた。 一人1回の授業研究を実施し、教職員の資質・能力の向上に努めた。 職員の資質・能力の向上につながった。 研究授業、研究協議を重ねることで、授業力の向上が見られた。 一つの研究主題に向けて、全職員で取り組む体制ができ、組織力が向上した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
セクハラ・パワハラについての研修会を持つ。 中学校区の共通課題を踏まえ、さらに協力して校内研修の充実に努める。 校内支援委員会を全職員の参加で行い、児童一人一人に応じた指導や支援を行っていく。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
男女共同参画出前講座	企画情報課	1回	5回	①充実		●	③新規	
事業の概要								
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。								
平成26年度実績								
実績なし								決算額
								0千円
								実績値
								0回
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画に関する幅広いテーマでの出前講座を開催することで、男女共同参画について団体等が考えるきっかけづくりや理解を深める事ができる有効な事業であるが、平成26年度については申し込みが0件であった。多く利用いただくためにも制度の周知に力を入れる必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成27年度予定								
昨年度と同様に広報への掲載・関係団体へのチラシ送付等により事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。								予算額
								92千円
								目標値
							-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
自治会別人権・同和問題学習課	人権啓発課	41回	35回	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。

平成26年度実績

わになろう会:小地域別人権・同和教育懇談会 目的:同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間:平成26年12月12日～平成27年2月25日 19:00～20:30 会場:20自治集会所(28自治会区) 参加者数:117名 内容:アイスブレイキング(様々なリボン)、視聴覚教材による人権学習他 推進員:公民館主事、教職員他 であい・ふれあいみんなの人権講座:小集団人権学習会 テーマ:同和問題と人権 会場:16自治会の集会所または公民館(16自治会区) 開催期間:平成26年10月6日～平成26年10月20日 19:30～21:00 参加者:192人 推進委員:三間町人権教育推進委員(32名:6藩編成)であい・ふれあい・みんなの人権講座	決算額
	858千円
	実績値
	100%(36回)
	進捗状況
5	

事業に対する評価・課題等

わになろう会:小地域別人権・同和教育懇談会
参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。

であい・ふれあい・みんなの人権講座:人権学習会
回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

わになろう会:小地域別人権・同和教育懇談会 開催予定期日:平成27年12月～平成28年2月(28自治会20会場で実施予定) であい・ふれあいみんなの人権講座:小集団人権学習会 開催予定期間:平成27年10月 19:00～21:00(14自治会で実施予定)	予算額
	836千円
	目標値
100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(2) 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,000人	1,500人	①充実		●	③新規
事業の概要							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
平成26年度実績							
事業名:三間町人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成26年11月13日(木) 参加人数:600人 内容:人権メッセージ・三間中・三間高生徒実行委員会とホロコースト記念館研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 友近890(やっくん)さん(テーマ:心の声に耳をかたむけてつなげていこう笑顔とめくもり) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田公民館 期日:平成27年2月13日(金) 参加人数:400名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(宇和島市連合婦人会吉田支部)、人権作文発表、人権啓発劇(遠見子ども会) 人権コンサート:講師 ちひろさん(テーマ:一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして)							決算額
							410千円
							実績値
							50%(1000人)
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
事業名:『三間町人権あったかコンサート』 三間高・三間中生徒実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、「アンネの日記」のホロコースト記念館日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、差別に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、書道シンガーの友近890の元気いっばいのパフォーマンスで会場が一体となり、熱く、楽しく人権について学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。							
事業名:『人権をまもる町民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。歌手のちひろさんによる人権コンサートにおいても、金子みすずの詩をとおして参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立城東中学校 期日:平成27年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『笑顔の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成27年11月11日(講演内容未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 会場:コスモスホール三間 期日:平成27年11月18日(講演内容未定) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田公民館 期日:平成28年2月(開催日及び講演内容未定)							予算額
							1,100千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
臨時託児所設置事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
子育て中の市民の社会参加を支援するため、市が行うイベントや各種会議等に臨時託児所を設置します。							
平成26年度実績							
H26.7.12(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 10名利用							決算額
							9千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
子育て中の方も気兼ねなくイベント等に参加できるよう臨時託児所を設置したところ、多くの方に利用いただけた。他課の事業においても積極的に利用してもらいたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
H27.8.8(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 等							予算額
							40千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

「宇和島市生涯学習推進計画」を基本に、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習社会を支える人づくりに努めるとともに、市民の学習ニーズを把握しながら、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。

平成26年度実績

【地区公民館】学級・講座(実施回数) ①家庭教育講座:72回 ②人権・同和教育講座:21回 ③女性学級:58回 ④高齢者学級:90回 ⑤成人学級:0回 ⑥公民館講座:199回 【生涯学習センター】 1. 第22回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) ①岡本知高Concerto del Sopranista 2014:532人 ②第17回宇和島文学歴史講座:61人 2. 市民講座(実施人数) ①パソコン講座:286人 ②クラフトバッグ教室:51人 ③光る泥だんご作り講座:29人 ④布で作る季節の飾り講座:75人 ⑥クリスマスリース講座:47人 ⑦ストレッチポール教室:31人	決算額
	4,030千円
	実績値
	-
	進捗状況
	4

各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらず、できるだけ多くの人々が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して、開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成27年度予定

【地区公民館】 ①家庭教育講座:87回 ②人権・同和教育講座:69回 ③女性学級:51回 ④高齢者学級:81回 ⑤成人学級:0回 ⑥公民館講座:241回 【生涯学習センター】 1. 第23回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) ①宇和島芸術祭 ②第18回宇和島文学歴史講座 ③市民大学 ④第12回宇和島名作劇場 ⑤カタリパイン宇和島2015 2. 市民講座(実施予定) ①パソコン講座 ②クラフトバッグ教室 ③光る泥だんご作り講座 ④布で作る季節の飾り講座 ⑥クリスマスリース講座⑦ストレッチポール教室 ⑧ゆかた着付け教室	予算額
	4,759千円
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(4) メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。							
平成26年度実績							
総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。研修やインターネット・書籍等で得た情報を指導に活かした。ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施した。校内研修会において、メディア・リテラシーに関する研修を行い、情報の取捨選択の大切さを学んだ。総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。新聞、テレビ、インターネット等のメディアリテラシーについて、社会科や技術・家庭科、総合的な学習の時間等で生徒に指導した。スマートフォン、携帯、ブログやライン利用方法やマナーについて、生徒指導主事を中心に生徒に周知した。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
総合的な学習の時間や各教科の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、インターネットを通じて情報収集ができるようになった。教職員の能力差が大きくて、最低限の研修になることが多い。情報管理については、研修のみならず日頃から職員に情報提供を行う等、情報管理に努めている。しかし指導者の育成が追いつかず、十分な職員の研修ができない状況である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
学校ホームページの充実を図る。情報機器の効果的な活用を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話だけでなく、スマートフォンにも視野を広げて)。児童のスマートフォン・携帯電話の利用について把握するとともに、実態に応じた情報モラル教育を実施する。あらゆる授業の中で、コンピューターに親しみ、活用できる能力を高める。昨年の活動に加え、外部講師による情報モラル研修を生徒、保護者と一緒実施する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-